

株式会社 三越 2008年5月上報告

1. 店別状況

(千円) (%)

店名	売上高※1	参考前年比※2
全店合計	54,943,491	97.0
日本橋	20,697,980	99.6
新宿アルコト	1,662,459	102.1
銀座	3,899,806	93.1
池袋	1,775,861	98.6
千葉	2,081,481	96.4
仙台	2,870,299	94.9
札幌	2,847,050	86.6
名古屋栄(ラシック含)	6,914,955	96.7
星ヶ丘	1,632,887	97.9
新潟	1,562,218	97.2
広島	1,300,443	96.7
高松	1,998,297	98.4
松山	1,625,784	97.7
福岡	3,346,834	96.7
鹿児島	727,138	84.0

※1 テナント売上高を含みます。

※2 2008年5月より、前年の売上実績を100として比較しています。

2. 商品分類別売上高

(%)

		売上高※1	参考前年比※2
合計		54,943,491	97.0
衣料品	紳士服・洋品	4,034,283	93.9
	婦人服・洋品	11,639,698	86.1
	子供服・洋品	1,130,949	95.4
	その他衣料品	1,670,570	97.6
衣料品小計	18,475,500	89.2	
身の回り品	7,751,502	92.8	
家庭用品	家具	861,741	90.7
	電器	238,894	138.9
	その他家庭用品	1,866,757	96.8
家庭用品小計	2,967,392	97.3	
食料品	11,454,160	102.5	
食堂・喫茶	1,019,253	91.1	
雑貨	9,087,806	94.6	
サービス	206,040	80.8	
その他	1,303,067	95.0	
テナント売上		2,678,779	261.7

3. 商況概況

〈5月商況〉

- 5月は、婦人服ではブラウスやワンピースなど夏物の軽衣料が動き出し、紳士服では前半の催事「メンズウィーク」が牽引したが、全般的に気温差が大きく週末に雨が降るなどの天候不順の影響を受け、衣料品が低調に推移したことが全体を押し下げる大きな要因となった。食品部門は引き続き好調を持続したものの、テナントを含めた全店合計の売上前年比は97.0%となった。
 - 日本橋本店は、婦人服では、昨年に引き続き人気のワンピースやGW、母の日に打ち出しを強化したブラウスやカットソーなどの軽衣料は堅調に推移、紳士服では、前半の催事「メンズウィーク」が好調で盛夏用のジャケットやカジュアルウェアが動き出したが、全般的に気温の変化に対応が十分でなく衣料品は伸び悩んだ。婦人雑貨では、晴雨兼用傘や帽子がよく動き、食品部門は引き続き好調だったが、全体の売上前年比は99.6%となった。
 - 銀座店は、GWでは「ミッフィー展」、後半は「英国展・ビーズ展」を開催し、集客・売上増に貢献したが、主力の婦人服では、ワンピースやブラウスが好調に推移したものの全般的に伸び悩み、売上前年比は93.1%となった。
 - 名古屋栄店は、食品部門や美術部門が好調に推移したが、婦人服や特選部門が低調で全体を押し下げ売上前年比は96.7%となった。
- 〈その他〉
- 5月27日(火)より、日本橋本店を皮切りに全店で中元ギフトセンターをオープン。素材や由来にこだわった本格派ギフトや三越ならではの限定商品を提案するほか、お客様のご要望にお応えするため、初めて携帯電話で食品原材料検索ができるサービスを開始し、好評を得ている。

平成20年3月より、報告する売上高にテナント売上を加えて、同じ基準で比較して前年比としています。三越各店でテナントも含めた店舗の全てのフロアでお客様がお買物される金額をお店の販売額と捉えるためであると同時に、統計の継続性を保つためです。

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越伊勢丹ホールディングス 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ
 TEL03-5843-6041 FAX03-5843-6040
 (株)三越 総務室 広報担当
 TEL03-3274-8007 FAX03-3241-5298